



平成 19 年 1 月 16 日

各 位

会 社 名 コスモ・バイオ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 原 田 正 憲
(コード番号：3386)
問 合 せ 先 常務取締役総務部長 柴 沼 篤 夫
(TEL. 03-5632-9600)

コアフロント株式会社への出資に関するお知らせ

当社は、コアフロント株式会社(以下「同社」とします)が実施する転換社債型新株予約権付社債による出資を引き受けることを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 出資の理由

同社は、バイオ研究支援装置・材料事業をはじめとして、再生医療事業および光学装置事業に取り組むバイオベンチャー企業で、バイオ・メディカル分野にエンジニアリング技術の融合応用展開を図り、人々の QOL(Quality of Life)の向上を通して、社会に貢献することを目的としております。

同社は今般、ラボ開設費、開発費及び運転資金の調達を目的として、平成 19 年 1 月 15 日 開催の臨時株主総会において転換社債型新株予約権付社債^(注1)(発行総額 34,200,000 円)の発行を決定しました。

同社が供給するセルウォッチャー®は、コンパクトな倒立型位相差顕微鏡^(用語説明1)であり、また同機シリーズ製品となるセルウォッチャー®ZOOM では、細胞顕微鏡としては、世界で初めての光学ズーム機能を有しております。同社は、細胞培養用炭酸ガス発生剤と同機シリーズを組み合わせ、ユーザーニーズに合わせた様々な細胞培養観察システムを供給しております。また、当社が機器分野の商材開発として推進している、画像処理分野の商品の拡充にも寄与することから、平成 18 年 8 月より同社は当社の仕入先として取引関係があります。

当社は、同社の商品開発による商品ラインナップの更なる充実と、仕入先としての安定化をはかることを目的として、今回の転換社債型新株予約権付社債を引き受けることといたしました。当社は、平成 17 年 9 月 27 日にジャスダック証券取引所に上場した際に、今後事業拡大のための M&A や事業提携等に要する資金として、公募増資等による資金調達を行いましたが、本件は、その一環として将来の事業拡大の布石として実施するものであります。

2. 出資の内容

同社が発行する転換社債型新株予約権付社債において、34,200,000円を引き受けます。

転換社債型新株予約権付社債の内容

(1) 発行される社債の状況

| | |
|---------|---------------------------|
| 社債の発行総額 | 34,200,000円 |
| 各社債券の金額 | 1,710,000円(20枚) |
| 当社引受額 | 34,200,000円 |
| 社債の利率 | 2.00% |
| 満期償還 | 平成22年1月25日に額面総額の100%で償還する |

(注:コアフロント社の売上計画の達成状況により、コアフロント社又は当社の裁量により、繰上償還するオプションが付加されております。)

(2) 新株予約権の状況

| | |
|--------------|------------------------|
| 株式の種類 | 普通株式 |
| 新株予約権の数 | 20個 |
| 当社に割当られる新株の数 | 360株 |
| 新株予約権の行使価格 | 95,000円 |
| 新株予約権の行使期間 | 平成19年1月26日から平成22年1月25日 |

(3) 日程

払込予定日および発行日 平成19年1月25日

3. 同社の概要

| | |
|---------|--|
| 商号 | コアフロント株式会社 |
| 代表者 | 代表取締役 畑江 和夫 |
| 所在地 | 東京都新宿区三栄町19番地 竹田ビル3F |
| 設立 | 平成11年10月1日 |
| 主な事業の内容 | ・生体適合材料の研究開発支援及び販売 ・創薬・バイオ研究支援業務受託および関連機器の開発・販売 ・バイオ・メディカル機器の開発・販売 ・電子機器および機能性材料の輸入販売 |
| 決算期 | 3月 |
| 従業員数 | 6名(平成18年9月30日現在) |
| 資本金の額 | 6,120万円 |
| 株式の状況 | 発行済み株式数 普通株式1,224株 (潜在株式を含めた株式数 普通株式2,404株 ^(注2)) |
| 売上高 | (平成18年3月期)94百万円 |

4. 業績に与える影響

当事業年度における影響は軽微と考えております。

以上

注1) 同社は平成19年1月15日開催の臨時株主総会において当転換社債型新株予約権付社債の他に、同様の社債(総額28,500,000円)の発行を決議しております。(当社の引受け金額を含めると総額62,700,000円となります。)

注2) 当社が新株予約権を行使した場合の持株比率は最大で22.7%となります。また、潜在株式が全て顕在化した場合の持株比率は14.9%となります。

【用語説明】

1. 倒立型位相差顕微鏡*

細胞等を顕微鏡で観察する際は、通常、染色により細胞等を着色して観察します。しかし、培養細胞等を生きたまま観察したい場合は、染色出来ないため、位相差顕微鏡を用います。位相差顕微鏡は、光が物質を通過する際の直接光と回折光の光路差(位相差)を利用して、培養細胞等の生の標本を無染色のまま観察できる仕組みになっています。また、通常培養細胞は培養容器に入れて培養するため、それらを観察するためには、顕微鏡の対物レンズが標本を載せる台の下側に位置するタイプの顕微鏡を用います。このタイプの顕微鏡を倒立型顕微鏡といいます。

同社が供給するセルウォッチャー®は、コンパクト(W120、H305、D200)な倒立型位相差顕微鏡であり、細胞や細菌などを非常に簡単に観察/記録(静止画、タイムラプス画、動画記録)できます。また同機シリーズ製品のセルウォッチャー®ZOOMでは、細胞顕微鏡としては、世界で初めての光学ズーム機能を有し、標本の大きさに合わせて視野領域を約400~1700 μ mの間で連続的に拡大/縮小できるという特徴を持っております。

